

6月7日は登山

田宮雅子

今年の登山は幹事さん達が色々と考えて、標高225mの円山になった。しかし参加者は幹事3人と私の4人だけで、集合には全員が地下鉄を使った。当日は曇り最高気温19℃、風もなく最高の登山日和だった。9時に集合して登りは八十八ヶ所コース、下りは円山動物園ウラコースを取った。やや急な登りでは88体以上ある観音さまにホックリし、途中で木登り中の可愛いエゾリスを眺め、カツラやセンノキの原始林をゆっくりと登り、50分程でピークに着いた。鶴野富さんが用意してくれたホットコーヒーを飲みながらドームが光る美しい札幌市街地を眺めた。下りは緩やかな道で、綺麗な天然記念原始林の中を美味しい空気を一杯吸って歩いた。間もなくスギ林と動物園フェンスが出てきて35分程で綺麗な木道に出た。さらに進むと1869年に入植した北海道開拓者の判官（島義勇）の石碑があり、北海道神宮会員の斎藤さんの説明を聞いて、出口に着いたのは11時半頃だった。ランチには少し早い時間で、博さんは家庭菜園の仕事が待っていたのでここで解散した。とても充実した爽やかな登山だったが、入口のトイレが和式でトイレットペーパーもないのは驚いた。こんなに整備された円山で、市民の憩いの円山で、何故トイレが古いままでペーパーもないのか腑に落ちなかった。

(参加者4名)



7月例会12日(日)焼き肉交流会です

羊ヶ丘スラローム

ニュース 2026年7月1日発行



私の趣味コーナー

スキーと山歩きと『さだまさし』 鶴野 富美子

私の趣味といってもこれといって胸を張って言えるものはないのですが、子育てが一段落するところから始めたスキーと山歩きを未だ続けています。どちらも地方へ転勤し過ごした6年の間に始めたものです。スキーは子供の頃少し滑ったものの、長い間、滑ることはなかったのですが、子供がスキーを始めたのをきっかけに地元のスキースクールに入りその楽しさにはまりました。しかし今まで続けてこられたのはスキー協のクラブ「羊ヶ丘スラローム」に声をかけてもらったからだろうと思います。講習会参加以外はほとんど一人ボッチのスキーヤーだった私がいままでスキーを続けているのは仲間がいたから。仲間と滑るスキーは格別楽しい。シーズン初めは滑り方を忘れた気分で不安になるのですがゲレンデに出るとスキーの下足の裏感覚が快感に変わります。下手の横スキーですが未だやめられません。

もう一つは山歩きです。元来、野山を歩き回るのは大好きだったが登山は嫌いでした。学生の頃もなぜこんなつらい思いをして登らねばならないのかといつも思っていました。30代も終わるころ、職場の上司に誘われて初めて行った山が何と大雪山赤岳！二人とも山登りに関してなんの知識もないド素人。6月下旬の赤岳は、ハイマツと残雪のコントラストが鮮やかでクリーム色のふわふわしたキバナシャクナゲがそれに彩りを添え、雄大なスケールの山々が広がり、1度で魅了されてしまったのです。山に恋をしているかのように足しげく通いました。夏休みは子供や家族と大雪山で過ごしました。私はどちらかというに登るというよりは山の花を見るのが好きです。名も知らぬ高山植物の美しさやかわいらしさに心が癒されるのです。これならもう少し年をとっても山歩きできるかななんて思っています。

音楽も好きです。歌を聴くのも好きですよ。義母が好きだった「さだまさし」コンサートにはよく行きます。仕事を辞めたら追っかけをしようと思いましたが今はスキーや山歩きが忙しく追っかけをするのはあきらめました。